

2010年10月19日  
豊田通商株式会社

## ベジ・ドリーム栗原、第2期ハウスを本格始動 国産パプリカの安定供給を目指して

豊田通商株式会社(以下:豊田通商、本社:名古屋市、社長:清水順三)の関係会社である豊通食料株式会社(以下:豊通食料、本社:東京都千代田区、社長:高橋誠一郎)が出資している農業生産法人株式会社ベジ・ドリーム栗原(以下:ベジ・ドリーム栗原、本社:宮城県栗原市、代表取締役:笹川徹)は、本日、第2期ハウスの竣工式を執り行い、本格始動いたしました。

ベジ・ドリーム栗原では、近年、食品の安心・安全への消費者の関心が集まり、国産野菜のニーズが高まる中、そのニーズに応え“新鮮・美味しい”“安心・安全”な商品を安定供給することを目指し、野菜の中でも輸入率の高い「パプリカ」の国内栽培に取り組んでまいりました。

### ＜ベジ・ドリーム栗原の歩み＞

2008年7月:ベジ・ドリーム栗原を地元農家と共同で設立。

第1期ハウス(0.7ha)建設開始。

2009年3月:第1期ハウス完成。

2009年7月:第2期ハウス建設開始。

2010年6月:第2期ハウス完成。



EAT COLOR! を合言葉に  
10色のパプリカを販売

	第1期ハウス	第2期ハウス
生産地	宮城県栗原市高清水福塚	宮城県栗原市高清水北甚六原地区
栽培面積	0.7ha	4.2ha(パプリカ栽培で日本最大規模)
施設形式	大型鉄骨ハウス	大型鉄骨ハウス
栽培方式	養液栽培	養液栽培
生産量(当初目標)	約100トン	約700トン(周年栽培)

※第2期ハウスについては、「強い農業づくり交付金」を活用し、建設。

ベジ・ドリーム栗原の年間生産量は、このたびの第2期ハウスの本格始動により、約800トンになります。ますます増える国産ニーズに応えるべく、今後とも「パプリカ生産で日本一を目指す」という方針の下、「栗原ブランド」パプリカの生産量・シェアを増やし、認知度を高めていきたいと考えております。

また、引き続き、ベジ・ドリーム栗原の事業活動を通じて、ご協力をいただいている地元宮城県および栗原市の“地域社会振興”“地域社会貢献”の視点での活動にも注力してまいります。

本件は、中部経済産業記者会、貿易記者会に同時に資料配布しております。

### 【本件のお問合せ先】

豊田通商株式会社

広報・IR室(東京)

石田・下陸

Tel:03-5288-2084

広報・IR室(名古屋)

小西・六浦

Tel:052-584-5011

【参考資料】

＜ ベジ・ドリーム栗原 概要 ＞



会社名 : 株式会社ベジ・ドリーム栗原  
本社所在地 : 宮城県栗原市高清水  
設立 : 2008年7月  
株主構成 : 豊通食料、地元農家5名  
代表者 : 代表取締役 笹川 徹  
事業内容 : パプリカ生産・販売事業

＜ 第2期ハウス外観 ＞

